



## 安全データシート

Copyright, 2026, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	08-2053-0	版	13.00
発行日	2026/05/18	前発行日	2024/03/24

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

導電性テープ AL-25DC, AL-25BT

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

テープ

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

皮膚感作性： 区分1

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

警告

##### シンボル

感嘆符

##### ピクトグラム



**危険有害性情報**

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

**注意書き****安全対策**

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
 P280E 保護手袋を着用すること。  
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

**応急措置**

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。  
 P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。  
 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

**廃棄**

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
アルミ箔	7429-90-5	55
アクリル酸エステル共重合体	営業秘密	10 - 30
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	64365-17-9	10 - 20
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	7440-02-0	6.0
ウレタン樹脂	営業秘密	<= 1.5

**4. 応急措置****応急措置****吸入した場合**

応急処置は不要。症状が発現した場合には空気の新鮮な場所に移し、医療機関を受診すること。

**皮膚に付着した場合**

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

**眼に入った場合**

応急処置は不要。症状が続く場合には医療機関を受診する。

**飲み込んだ場合**

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項  
適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素  
二酸化炭素  
刺激性蒸気あるいはガス

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 残さを清掃する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を

避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

## 保管

熱から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

#### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
アルミ箔	7429-90-5	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5 mg/m <sup>3</sup>	
金属アルミニウム及び不溶性化合物, 吸入性画分	7429-90-5	ACGIH	TWA(吸入性画分):1mg/m <sup>3</sup>	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの, 吸入粒子	7429-90-5	ACGIH	TWA(吸入粒子):10 mg/m <sup>3</sup>	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの, 吸入性粒子	7429-90-5	ACGIH	TWA(吸入性粒子):3 mg/m <sup>3</sup>	
ニッケル化合物(ニッケル製錬粉じん)(粉じん)	7440-02-0	JSOH OELs	限界値は未設定	ヒトに対して発がん性がある。皮膚感作性がある、吸入感作性の可能性。
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	7440-02-0	ACGIH	TWA(吸入性画分):1.5mg/m <sup>3</sup>	A5: ヒトへの発がん性は懸念されない。
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	7440-02-0	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	25°C1気圧空气中
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	7440-02-0	JSOH OELs	TWA(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	皮膚感作性が既知、呼吸器感作性の可能性。

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m<sup>3</sup>: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

### ばく露防止策

**設備対策**

適用しない。

**保護具****眼の保護具**

特別な眼保護具は必要でない。

**皮膚及び身体の保護具**

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質： ニトリルゴム

**呼吸用保護具**

特別な呼吸器保護は必要でない。

**9. 物理的及び化学的性質****基本的な物理・化学的性質****外観**

物理的状态:

固体

ロール状テープ

**色**

白色

**臭い**

わずかなアクリル臭。

**臭いの閾値**

適用しない

**pH**

適用しない

**融点・凝固点**

データはない。

**沸点, 初留点及び沸騰範囲**

適用しない

**引火点**

適用しない

**蒸発速度**

適用しない

**引火性**

適用しない

**燃焼点 (下限)**

適用しない

**燃焼点 (上限)**

適用しない

**蒸気圧**

適用しない

**相対蒸気密度**

データはない。

**密度**

データはない。

**比重**

適用しない

**溶解度**

なし。

**溶解度 (水以外)**

適用しない

**n-オクタノール/水分分配係数**

データはない。

**発火点**

データはない。

**分解温度**

適用しない

**動粘性率**

適用しない

**揮発性有機化合物**

データはない。

**揮発分**

適用しない

水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 データはない。  
(JIS-GHSの要求項目ではない)

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

#### 粒子特性

適用しない

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

### 避けるべき条件

知見はない。

### 混触危険物質

知見はない。

### 危険有害な分解物

#### 物質

#### 条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

### 毒性学的影響に関する情報

#### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

#### 吸入した場合

人体への健康影響は考えられない。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚過敏感症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

## 眼に入った場合

人体への健康影響は考えられない。

## 飲み込んだ場合

物理的閉塞： 腹部痙攣、腹痛、便秘などの症状。

## 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合になります。

## 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
アルミ箔	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
アルミ箔	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
アルミ箔	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.888 mg/l
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 2.55 mg/l
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	経口摂取	ラット	LD50 > 9,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

## 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アルミ箔	ウサギ	刺激性なし
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	ウサギ	刺激性なし
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	ウサギ	ごく僅かな刺激臭

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アルミ箔	ウサギ	刺激性なし
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	ウサギ	軽度の刺激
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	ウサギ	軽度の刺激

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
アルミ箔	モルモット	区分に該当しない。
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	多種類の	区分に該当しない。

	動物種	
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	ヒト	感作性あり

## 呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
アルミ箔	ヒト	区分に該当しない。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
アルミ箔	In vitro	変異原性なし

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	吸入した場合	類似化合物	発がん性

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 266 mg/kg/日	妊娠期間中

## 標的臓器

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

## 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アルミ箔	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
アルミ箔	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.001 mg/l	13 週

## 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場

合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	64365-17-9	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	64365-17-9	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	64365-17-9	ミジンコ	推定値	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
アルミ箔	7429-90-5	ブラウントラウト	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
アルミ箔	7429-90-5	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
アルミ箔	7429-90-5	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
アルミ箔	7429-90-5	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
アクリル接着	7440-02-0	ファットヘッド	類似コンパウ	96 時間	LC50	0.4 mg/l

剤中のニッケルパウダー		ドミノウ (魚)	ンド			
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	7440-02-0	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	ErC50	0.147 mg/l
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	7440-02-0	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.068 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	64365-17-9	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	3 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
アルミ箔	7429-90-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	7440-02-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
樹脂酸およびロジン酸の水素化物とペンタエリスリトールとのエステル	64365-17-9	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	7.762	
アルミ箔	7429-90-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	7440-02-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

## 土壌中の移動性

データはない。

## オゾン層への有害性

データはない。

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

### 国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

## 15. 適用法令

### 国内法規制及び関連情報

#### 日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

化管法：指定化学物質

#### 主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
アルミ箔	アルミニウム	該当	該当	該当
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	ニッケル	該当	該当	該当

#### 化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
アクリル接着剤中のニッケルパウダー	ニッケル	308	第1種指定化学物質

## 16. その他の情報

### 改訂情報

セクション 15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」情報の追加.

セクション 15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」情報の追加.

セクション 1：製品名 情報修正.

セクション 2：絵表示 情報修正.

セクション 2：注意書き - 応急措置 情報修正.

セクション 3：成分表 情報修正.

項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加。  
セクション4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正。  
セクション5：火災時情報(消火法) 情報修正。  
セクション5：燃焼時有害性の表 情報修正。  
セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正。  
セクション8：作業環境許容値 情報修正。  
セクション8：保護具 - 皮膚/体幹 情報の削除。  
セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正。  
セクション8：皮膚保護 - 保護衣情報 情報の削除。  
セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正。  
セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の追加。  
セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の削除。  
セクション9：燃焼性(固体、ガス)情報 情報の削除。  
セクション9：引火性情報 情報の追加。  
セクション9：動粘性率情報 情報の追加。  
セクション9：ナノパーティクル 情報の追加。  
セクション9：粒子特性 適用しない 情報の追加。  
セクション9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正。  
セクション9：粘度 情報の削除。  
セクション11：急性毒性の表 情報修正。  
セクション11：健康影響情報(眼) 情報修正。  
セクション11：健康影響情報(吸入した場合) 情報修正。  
セクション11：健康影響情報(皮膚) 情報修正。  
セクション11：生殖発生影響 情報の追加。  
セクション11：生殖毒性の表 情報の追加。  
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。  
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。  
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。  
セクション11：特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報の削除。  
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。  
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。  
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。  
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。  
セクション15：労働安全衛生法の表 情報修正。  
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート(SDS)の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く)本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む(これらに限定されるものではありません)適用される全ての法的要求について責任を負います。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**